

レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている資料の提供や検索方法の紹介など、情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や健康相談、物品鑑定、論文作成、クイズの解答などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては、日数がかかるもの、資料や情報が提供できないもの、あるいは見当たらない場合もありますのでご了承ください。

○レファレンス受付件数（2008年6月分）

参 考	人 文	社 会	自 然	郷 土	国 際	国 連	こども	ポピュラー	合 計
142	1990	737	631	898	1017	240	512	1138	7305

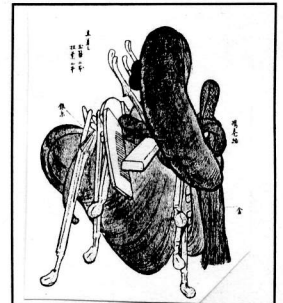
（開館日数24日 一日平均304件）



こんな質問がありました

人文Q. 歌舞伎の遊女役の髪型の結い方。

- A. 雑誌⇒『演劇界 別冊 2004年4月30日号』「助六由縁江戸桜」に登場する、“太夫”“傾城”と呼ばれる最高位の遊女である揚巻のかつらが結い上がるまでの工程を写真つきで説明。歌舞伎関連⇒『歌舞伎のかつら』傾城のかつらのイラストを数種掲載。かんざしや髷の説明あり。結髪関連⇒『日本の髪型』（紫紅社）歌舞伎用ではないが、京都島原や江戸吉原の太夫の髪型の写真あり。結い方の説明つき。



揚巻のかつら↑「歌舞伎のかつら」
（松田青風著 演劇出版社）より

人文Q. ツタンカーメンの墓から発見されたエンドウが発芽したという新聞記事が見たい。

- A. ルポルタージュ⇒『のびろのびろ！ツタンカーメンのえんどう』1922年にツタンカーメンの墓が発掘された際、一緒にエンドウが発見されたことや、その後、種子が日本に渡ってきた経緯が書かれている。発芽の記事（読売新聞1957年6月23日付）も写真とともに紹介。新聞⇒『朝日新聞縮刷版 昭和60年2月号』22日の朝刊の天声人語に、高崎市の小学校で栽培されているエンドウについて記載あり。

人文Q. 釈教歌とはどのような歌か？

- A. 和歌事典⇒『和歌大辞典』仏教関係の和歌を言うが、内容は多様、との説明あり。参考文献も紹介。仏教文学関連⇒『仏教文学講座 第4巻』“釈教歌の成立と展開”の章に各勅撰集に収録されている釈教歌の数の一覧表を記載。「千載集」以後勅撰集にはすべて釈教部が置かれるようになったとの記述あり。日本文学関連⇒『新編日本古典文学全集 43』「新古今和歌集」の巻第二十が釈教歌として部立されている。釈教歌について簡単な説明もあり。このほか『千載和歌集』や『玉葉和歌集』『新勅撰和歌集全 3』などにも釈教歌の巻あり。『西行和歌と仏教思想』西行の釈教歌について。

自然Q. 傷口を湿らせて治す具体的な方法。

- A. 外科学関連⇒『キズのケア、心のケア』湿潤環境を保って治す“モイストヒーリング”という治療法について書かれている。また、モダンドレッシングという被覆材を使った治療法を説明。『キズ・ヤケドは消毒してはいけない』ラップで覆う方法と市販の

被覆材をつかった方法が説明されている。『さらば消毒とガーゼ』傷を湿潤に保つ手段について説明。ラップを使った治療の安全性についても記述。他の被覆材についても数種類紹介。新聞⇒『朝日新聞 be on Sunday 平成20年4月20日号』「元気のひけつ」というコーナーで、擦り傷や切り傷の湿潤療法を説明。

自然Q. 野菜の定義を知りたい。

A. 野菜関連⇒『Q&A 野菜の全疑問』野菜と山菜、果物の分類について説明。野菜→栽培されている食用植物で、一年生の草本作物。山菜→山に自然に生え育っている食用植物。果物→永年生の草本作物。ただし、一般的に果物として扱われる野菜や、野菜として扱われる果物もあり、植物学か消費者の立場で見るかで分類が変わる、との記述。『野菜園芸ハンドブック』野菜の種類と分類について、「蔬菜」の名称で定義が書かれている。『食べ物の科学』「蔬菜」は副食として利用される草本植物の総称、とあり。また、野菜には他の食用作物との境界が明確でないものがあるとして、その例を紹介。百科事典⇒『日本大百科全書 23』「野菜」の項目に簡単な定義の記述あり。

社会Q. ISO14001に登録している会社数の変遷を調べたい。

A. 日本の会社：統計⇒『環境統計集 平成20年版』「ISO14001 審査登録推移状況」（平成13～19年9月末）や平成20年1月末現在の「都道府県別ISO14001 審査登録状況」「産業分野別ISO14001 審査登録状況」の表あり。『同 平成14年版』の「ISO14001 審査登録推移状況」表は平成6年～13年のもの。

世界の会社：環境関連⇒『ISO14000 環境マネジメント便覧』「ISO14001/EMAS 認証登録件数1999.1.15 ドイツ環境省調べ」の表が記載されているが、世界のISO14001の認証取得状況を概観できるようになっていないという文章も記されている。

社会Q. 原爆投下後の長崎の鉄道・電車の運行状況について知りたい。

A. 原爆関連⇒『長崎原爆戦災誌 第1巻』鉄道と電気軌道の復旧状況について記述あり。鉄道は昭和20年8月11日から、電気軌道は11月25日から運行再開とあり。このほか、原爆投下直後に負傷者を乗せて運行した救援列車についての説明。『広島・長崎の原爆災害』『ナガサキは語りつぐ』救援列車についての記述。電車関連⇒『日本の路面電車 1』長崎電気軌道の原爆の被害と復旧状況の詳細。

社会Q. 大黒天が持つ打出の小槌の伝来について知りたい。

A. 辞書類⇒『国史大辞典 8』大黒天について説明。図と写真により大黒天の様子がわかる。明寿院や観世音寺蔵の大黒天は小槌を持っていない。高田寺蔵は俵に乗り小槌を持っている。大黒と大国主が習合されて、福袋と打出の小槌を持つ姿が一般化した、との記述あり。『七福神信仰事典』打出の小槌を持っている姿ができあがったのは鎌倉から室町時代にかけてのころで、それが江戸時代になって一般化したとの説明。民間信仰関連⇒『大黒天信仰と俗信』観世音寺の大黒天について説明。「右手は拳印で右腰近くにおいているのは果たして拳印であるか、持っていた杖が失われたものであるかは不明」との記述。また、インド・ネパール・チベットの大黒天像もほとんど武器を手にしていて槌は持っていない。片手で持つ柄の短い槌はあくまでも日本的なものという説明あり。



↑観世音寺蔵の袍衣大黒

「国史大辞典 8」

(国史大辞典編集委員会/編 吉川弘文館)より